

# (お 知 ら せ)



平成22年3月4日  
日本原子力発電株式会社

## 敦賀発電所の近況について

敦賀発電所の近況について、以下のとおりお知らせします。

### 1. 運転状況について（3月4日現在）

（ ）内は定格電気出力

1 号 機 沸騰水型（35万7千kW）	運 転 中
2 号 機 加圧水型（116万kW）	第17回定期検査中 定期検査の工程表は別紙1のとおり

### 2. 故障等の状況について（平成22年2月4日～平成22年3月4日）

#### （1）法律に基づく報告事象

なし

#### （2）安全協定に基づく異常時報告事象

○敦賀発電所1号機 主蒸気圧力制御系の圧力伝送器からの水漏れについて

平成22年1月19日10時頃、運転中のタービン建屋2階（管理区域内）において、巡視点検中の運転員が、タービンに供給している蒸気（主蒸気）の圧力を検出している伝送器から水漏れを発見しました。

このため、当該伝送器の圧力検出配管の元弁を閉止し漏れを停止させました。漏れた水は約2.5リットルで、放射エネルギーは、約 $3.3 \times 10^5$ ベクレルと評価しました。

この事象による運転への影響はなく、環境への放射能の影響はありません。

これまでの調査では、圧力伝送器内で圧力を検出するブルドン管<sup>\*</sup>の表面にひび割れが認められ、この箇所から漏れが生じていたものと推定しました。

（平成22年2月3日お知らせ済）

対策として、2月9日に当該伝送器を新品に取り替え、復旧しました。

これまでの調査で、ひびの破面は疲労破壊（高サイクル疲労）の特徴を示していること、ひびの近傍には腐食痕があり、その中に小さなひびがあることが確認されており、これらが発生した原因については詳細な調査を行っています。当該伝送器は第32回定期検査時に約9ヶ月間、系統から取り外した状態で保管していました。

※：圧力計に使われる断面が扁平の金属パイプのことで、渦巻き状になっており開口部から測定圧力をかけると、圧力に応じてそのパイプの曲げ率が変化し、先端が変位することを利用して圧力を測っています。

### （3）保全品質情報等

#### ○敦賀発電所2号機における運転上の制限の逸脱及び復帰について

（原子炉格納容器エアロック内側扉からの漏えい）

運転中の敦賀発電所2号機において、平成22年2月9日に行った原子炉格納容器エアロック<sup>※1</sup>の漏えい率検査（1回／6ヶ月）で、エアロックの内側扉より空気の漏れが認められたことから、保安規定の運転上の制限<sup>※2</sup>を満足していないと判断しました。

（平成22年2月10日お知らせ済）

調査の結果、検査ではエアロック内を加圧するため、内側扉が開かないように治具で固定しており、今回はその治具でエアロックが傷つかないように挟んだゴムシートが厚く、弾力性があつたため、加圧によりシートがつぶれ、内側扉とエアロック本体との間に隙間ができたことにより、空気漏れが発生したものと推定しました。

2月12日に、厚みが薄く弾力性の少ないシートを用いて漏えい率検査を行い、異常のないことを確認したため、同日21時30分、保安規定の運転上の制限内に復帰しました。

（平成22年2月19日お知らせ済）

※1：原子炉格納容器への人の出入口として設けているもの。内側と外側の二重扉式の気密構造で、両方の扉が同時に開かないようインターロックが設けられており、地下と1階の2箇所に設置されています。

※2：多重の安全機能を確保するため、予備も含めて動作可能な機器（ポンプ等）の必要台数が定められているものです。一時的にこれを満足しない状態が発生すると、運転上の制限からの逸脱を宣言し、予め定められた時間内に修理等を行うことが求められます。なお、定められた時間内に当該機器を復旧させるか、または出力低下などの予め定められた措置を講ずれば、保安規定違反に該当するものではありません。

### 3. 敦賀発電所1号機の運転停止時期の変更に対する福井県および敦賀市のご了承について

2月22日、福井県知事および敦賀市長から、敦賀発電所1号機の運転停止時期の変更についてご了承をいただきました。

当社といたしましては、昨年、経済産業省から認可を頂いた敦賀発電所1号機保

安規定の長期保守管理方針に基づき、確実に保守管理を実施するとともに、福井県知事および敦賀市長が示された安全確保策を確実に実施して、安全確保に万全を期してまいります。

今後とも、安全を最優先に、発電所の安全性・信頼性のより一層の向上に努めてまいります。

(平成22年2月22日発表済)

#### 4. 敦賀発電所3, 4号機 準備工事について(3月4日現在)

##### (1) 陸域工事関係

平成19年9月より本格的に開始した山地の切取、埋立工事は平成21年5月末に終了し、6月15日に県の埋立竣功検査を受け、7月14日竣功認可書を受領しました。現在、埋立地の地盤改良工事、原子炉背面道路工事、原子炉背後斜面の追加切取工事を行っています。

また、今後の工事として、止水壁の構築工事等を予定しています。

##### (2) 仮設工事関係

浦底湾側に本体工事で必要となる仮設用地の造成工事を平成21年9月より継続しています。

#### 5. その他

##### (1) げんでんふれあいギャラリー

〈個人・グループでの芸術活動、趣味の発表の場としてご利用頂いております。〉

###### 1) わたしたちのビーズスタイル No. 11

〔「ビーズ工房」(代表:田中 喜美枝様)の皆様によるビーズの作品展です。ビーズと副資材との組み合わせで、普段使うアクセサリからちょっぴりおしゃれなアクセサリまで幅広く使えるものを、洋服や気分に合わせて、また、流行も取り入れながら制作された作品を600点展示しています。〕

(3/2~3/14)

###### 2) カリコール絵画展 夢をかたちに~すばらしい仲間たち~

〔敦賀市生涯学習センター洋画教室「カリコール」(代表:増田 貢一様)の皆様による絵画作品展です。毎週水曜日に西公民館で活動されています。当ギャラリーでの展示は今回で8回目になります。教室では、モデル、静物、花等色々なものを対象に描かれています。油彩、水彩、デッサン、スケッチ等30点展示予定です。〕

(3/16~3/28)

###### 3) 彩り紀行 春景

〔敦賀市在住の中村 陽一様による写真の個展です。当ギャラリーでの展示は初めてとなります。近県の身近な春の風景写真を30点展示予定です。〕

(3/30~4/4)

(2) げんでんふれあい福井財団イベント

＜福井県内の芸術・文化振興活動として以下の事業を実施します。＞

1) げんでんふれあいスペシャル2010

米村でんじろうサイエンスショー

会場：敦賀市民文化センター

日時：3月20日 開場13時 開演13時30分

・チケットは、げんでんふれあい福井財団および、げんでんふれあいギャラリーにて販売しています。

(3) 次世代層等への教育支援活動関連イベント

＜次世代層等への環境・IT等に関する教育支援活動として、以下の事業を実施します。＞

1) “げん丸塾”体験学習「星空観察と科学の不思議、体験の旅」

対象：げん丸塾生（会員制）他

会場：姫路科学館、星の子館（兵庫県）

日時：3月25日～26日（一泊二日）

(4) 地域交流イベント

＜地域との共生・交流活動として、以下の事業を実施します。＞

1) ミニ原子力講座とカルチャー教室

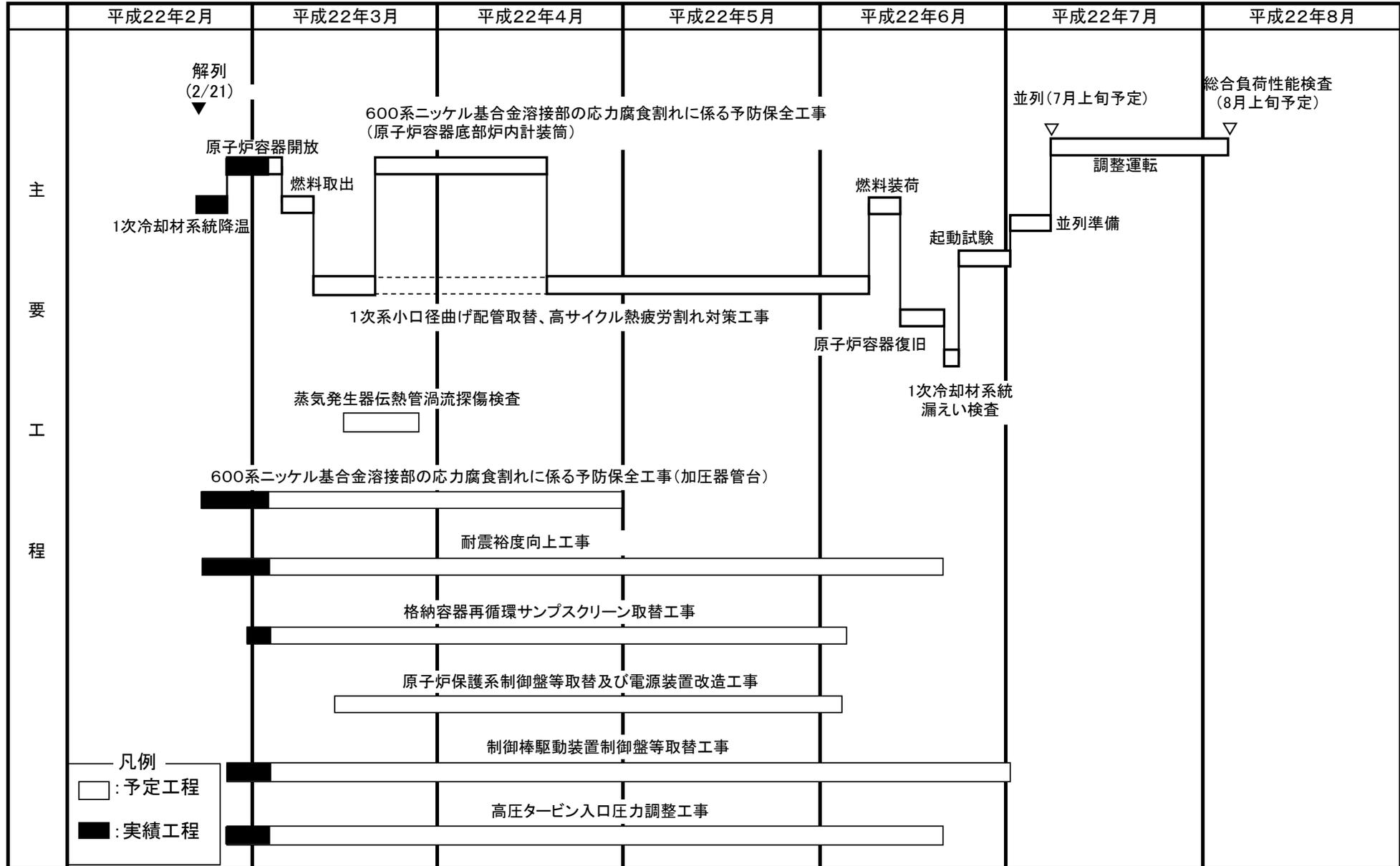
〔ミニ原子力講座とカラテビクス、フラダンス、エアロビクス教室  
（午前の部・午後の部・夜の部）〕

対象：一般公募（定員各部50名）

会場：敦賀市福祉総合センター（あいあいプラザ）

日時：3月11日

# 敦賀発電所2号機 第17回定期検査工程表



5